

中五島高

商品開発、販売へ 模擬会社を発足

来月「朝市」を開催



事業内容について質疑応答する生徒 中五島高

県立中五島高(川原智司校長、51人)のビジネスキャリアコース3年生14人が、商品の企画開発や販売実習をする模擬会社「Seaglass」を発足。商品は「朝市」などで販売する。新上五島町宿ノ浦郷の同校で19日にあった創立総会で、社長に就任した田中誠彦さん(17)が事業内容などを説明。利益は小中学校の活動支援などに充てる考え。模擬会社は、ビジネスの実務能力を高めるなどの目的で毎年実施。運営資金はクラウドファンディング(CF)で46万円集めた。商品は、オリジナルデザ

インのTシャツ、ポロシャツのほか島内外から仕入れた菓子など53種類。田中さんは「30万円ぐらいの利益を出すのが目標。地域子どもたちのために役立てたい。ビジネスの実践、実行で、みんなの意見をまとめる難しさを学んだ。貴重な経験ができて楽しい」と話した。(平田有子)

朝市の開催日程は次の通り。時間はいずれも午前9時〜11時。

▽7月2日、五島うどんの里(有川郷)、メル・カピィあおかた直売所(青方郷)▽3日、若松港ターミナル(若松郷)、奈良尾医療センター(玄関前(奈良尾郷))▽4日、カミティ(浦桑郷)